

「原料費調整制度」等による適用ガス料金の調整について (2023年3月検針分)

武州ガス株式会社は、「原料費調整制度」等に基づき、2023年3月に適用する1m³当たりの単位料金を、2023年2月検針分に適用の料金に比べ8.67円(消費税込)下方に調整させていただきます。調整は、検針月の3か月前から5か月前まで(中2か月)の3か月平均の原料価格変動額に応じて行うもので、2023年3月検針分の単位料金は、2022年10月から2022年12月の平均原料価格に基づき算出しました。

また、電気・ガス価格激変緩和対策事業の政府支援を踏まえた値引き(1m³あたり税込み30円)が反映されております。

この結果、1か月に32m³(45MJ/m³)のガスをお使いになる標準家庭で、2023年2月検針分に比較して、278円(消費税込)ガス料金が下がります。

供給約款料金表

(消費税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (円/月)	単位料金 (円/m ³)		基準単位料金 (円/m ³)
			2023年3月適用 単位料金(円/m ³)	2023年2月適用 単位料金(円/m ³)	
料金表A	0m ³ から20m ³ まで	814	221.11	229.78	160.00
料金表B	20m ³ をこえ50m ³ まで	1,329	195.31	203.98	134.20
料金表C	50m ³ をこえ200m ³ まで	1,632	189.26	197.93	128.15
料金表D	200m ³ をこえ450m ³ まで	3,214	181.36	190.03	120.25
料金表E	450m ³ をこえ750m ³ まで	5,402	176.48	185.15	115.37
料金表F	750m ³ をこえるもの	10,847	169.24	177.91	108.13

※2023年2月適用単位料金より1m³につき税込30円の政府支援を踏まえた値引きがされております。

詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金激変緩和対策特設サイト」をご覧ください。

(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/>)

標準家庭における影響

(消費税込)

1か月のご使用量	2023年3月検針分の料金	2023年2月検針分の料金	影 響 額
32m ³ (45MJ/m ³)	7,578円	7,856円	▲278円

原料価格の変動

基準平均原料価格 (a)	34,700 円/t
2022年10月～2022年12月の 平均原料価格 (b)	140,900 円/t
LNG価格	141,670 円/t
LPG価格	93,300 円/t
差 額 (b-a)	106,200 円/t

[参 考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を調整する制度です。
- ・ 基準平均原料価格(34,700円/t)と「平均原料価格(料金適用月の5か月前から3か月前の3か月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³当たり0.0858円(0.078円に1.10(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。□

単位料金調整額の算定方法

- ・ 平均原料価格の算定

	LNG平均価格	(貿易統計ベース)	141,670 円/t	×	0.9608
+	LPG平均価格	(貿易統計ベース)	93,300 円/t	×	0.0513
			140,902.826 円		
			↓ (10円未満四捨五入)		
			140,900 円/t		

- ・ 原料価格変動額の算定(基準平均原料価格 34,700円/tからの変動額)

$$140,900 \text{ 円/t} - 34,700 \text{ 円/t} = 106,200 \text{ 円/t}$$

↓ (100円未満切り捨て)

$$106,200 \text{ 円/t}$$

- ・ 単位料金調整額(1m³当たり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = 106,200 \text{ 円/t} \div 100 \text{ 円} \times 0.0858 = 91.1196 \text{ 円}$$

↓ (小数点第3位以下切り捨て)

$$91.11 \text{ 円}$$

激変緩和対策 1m³あたり -30円を反映 = **61.11 円**